

後援会だより

札幌大学と保護者を結ぶホットライン

札幌大学後援会広報誌 Vol.59

発行/札幌大学後援会事務局 発行日/2023年3月31日 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内 TEL(011)852-9749(直) https://koenkai.sapporo-u.ac.jp

北海道学生柔道体重別選手権で全階級を制覇し優勝！ 団体戦でも優勝し、全国大会にも出場！！ 全国3位入賞の古場さんは、推薦で仏遠征へ！！

札幌大学は昨秋の北海道学生柔道体重別選手権に出場。7つの階級で全て優勝し、全体では19名が入賞という輝かしい戦績を挙げました。全階級制覇は札幌大学史上、初の快挙であり、さらに、北海道学生柔道体重別団体優勝大会も優勝。その勢いを駆って全国大会にも出場し、100キロ超級の古場幸能さんが全国3位入賞を成し遂げました。そこで、今回は柔道部の皆さんに、日頃の練習と今後の目標を伺いました。

【出席者】

- 河合 一丸さん (監督)
- 吉川 仰さん (トレーナー)
- 村崎 聖さん (キャプテン)
- 吉池 優樹さん (副キャプテン)
- 古場 幸能さん (全国3位)

優勝おめでとうございます。この結果はやはり練習の賜物でしょうか？

河合監督 学生たちには「自分でやる」という意志があり、限られた時間内での練習の濃い練習をするか、自主的に考えてやってくれています。それが結果に繋がりました。

大会で勝つための戦略はありましたか？

河合監督 戦略はありませんが、昨年の4年生のレベルが高く、その影響が大きかったですね。今年も全国から優秀な学生たちが集まってきたので、そのなかで切磋琢磨してやっています。

部員の皆さんは、どのような努力、練習をされていますか？

村崎 監督が仰ったとおり、限られた時間で集中して練習しています。ウォーミングアップから受け身、そして乱取り稽古と、効率の良い練習を心掛けており、それを全員で共有できるように、積極的に声を出そうとしています。部員全員にも声を出しているという話はしています。

吉池 キャプテンを支えるために、私も声を出していますし、練習メニューでも、「こうした方がよいのでは」という点があれば、進言して改善に努めています。キャプテンの横で問題点を見つけるのが、私の役目だと思っています。



左から 吉池さん 古場さん 村崎さん

すが、やはり全国で勝つことが、学生たちの喜びになると思います。

吉川さんはトレーナーとして、どのように指導されていますか？

吉川トレーナー 体づくりに重点を置いていきます。あとはパフォーマンスの維持ですね。怪我のないようにウォーミングアップから十分に目を配り、もし怪我をしたら復帰に向けたケアトレーニングも指導しています。

今後の目標はなんですか？

河合監督 日頃の過ごし方、生き方が結果に出ると思います。遅刻をしないこと、講義に出ることなどはしっかりと指導しています。柔道に向かう姿勢というか、しっかりと考えを持った学生は強くなりますよ。

お二人は部員を見ながら、個人としても頑張らなければなりませんね。

村崎 部全体を見ながら、一方で個人的な練習も積んでいます。トレーニングメニューがある中で、フィジカルの強化など、練習時間外に一人でできることはやっています。

吉池 個人、団体ともに、道内では「次も当然勝つ」という気持ちがあるので、練習にも身が入りますね。

河合監督 道内で勝つことも嬉しいで

けとめるのは、戦った本人ですから。古場さんも、先輩から刺激を受けているのではありませんか？

古場 尊敬する先輩たちの背中を追いかけて、自分も成長していきたいと思っています。私自身は今回、しっかりと持って投げられることを意識してやりました。まずは、しっかりと相手の道着を握るといふか、組むことを心掛けました。

その結果、古場さんは全国3位という好成績を挙げられました。この結果をどう受け取っていますか？

古場 嬉しさもあり、悔しさもあります。緊張もしましたが監督から、「一戦一戦に集中しろ」とアドバイスをいただきました。その教えがあつて、目の前の相手に集中することで、勝ち上がることができました。

吉川トレーナー 私も今回、全国大会に帯同して全国の壁を感じました。これを克服するために、今後はフィジカルの強化、特に下半身を鍛えたいと思っています。またメンタルの部分でも、部員一人ひとりとコミュニケーションをとって、コンディションの維持に努めたいですね。やりたいことはいっぱいあります。

古場さんは道内の重量級では初となる北海道柔道連盟の強化選手に選出され、フランス遠征に行く予定です。

河合監督 今回は競技人口が日本の4倍といわれるフランス遠征に彼が行きます。そこで、海外の選手がいかに厳しい環境で練習をしているか、実際に見て学んできてほしいですね。今回はフランスですが、メキシコなど中南米の国々では、道着や畳がポロポロなものです。そのなかでも懸命に練習している現実を見て、自分たちがいかに恵まれた環境で、柔道に打ち込むことができるか、それを知ること、親御さんや応援してくれる方々など、周囲に感謝する気持ちが生まれると思います。私は、彼らが柔道着を脱いだときのことを考え、一人の学生として、また、人間としても成長してほしいと思っています。後援会の皆様には、これからも見守っていただきたいと思います。

全国大会出場クラブを激励、壮行会を開催！



日時/10月27日(木曜日)
12:20~12:50
会場/中央棟前広場

昨秋、全国大会への出場切符を手にした、体育連合会の各クラブを激励する、「壮行会」が開催されました。開会宣言のあと、出場12団体が発表

●全国大会出場団体および大会名(一部抜粋)

- 柔道部** 2022年度 講道館杯 全日本柔道体重別選手権大会 (10月)
- 女子バスケットボール部** 第74回 全日本大学バスケットボール選手権大会 (12月)
- 男子バスケットボール部** 第74回 全日本大学バスケットボール選手権大会 (12月)
- 陸上競技部** 第13回 エコパトラックゲームズ (11月)
- ハンドボール部** 全日本大学ハンドボール選手権大会 (11月)
- 卓球部** 第18回 全日本学生選抜卓球選手権大会 (11月)
天皇杯・皇后杯2023年 全日本選手権大会 一般・ジュニアの部 (1月)
- 女子サッカー部** 皇后杯JFA 第44回 全日本女子サッカー選手権大会 (11月)
第31回 全日本大学女子サッカー選手権大会 (12月)
- ラグビー部** 第73回 全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会 (12月)
- チアリーディング部** 第34回 全日本学生チアリーディング選手権大会 (12月)
- 準硬式野球部** 第40回 全日本大学9ブロック対抗準硬式野球選手権大会 (11月)
- 男子バレーボール部** 第75回 秩父宮賜杯 全日本バレーボール大学男子選手権大会 (11月)
- 剣道部** 第41回 全日本女子剣道優勝大会 (11月)

され、続いて大森学長から「最善のプレーを心がけてほしい」とのメッセージが贈られました。次に登壇したのが、後援会の猪狩会長です。ご自身も札幌大OBであることから、後輩の活躍に目を細め、「出場おめでとうございます。後援会では奨学金制度や学びの場の環境整備、文連祭や学校祭への支援、さらに課外活動における遠征費の支援も行っていますので、ぜひ有効に活用していただきたいと思っています。大会では、ひとつカッコいいところを見せてほしいですね。それは試合に臨む姿勢です。ひたむきな姿勢こそ何よりカッコいいものであり、私たちはそれを期待しています」と、心温まる言葉を述べられました。

これにちなみ、謝辞を述べたのは、女子バスケットボール部の岡本さん。「支えてくださった皆様に恩返しをするため、全力を尽くして参ります」と、力強い決意表明がありました。最後に校歌を斉唱し、壮行会は無事終了。出場クラブの選手達はそれぞれの舞台に向けて旅立っていかれました。

就職活動いよいよスタート 「札幌大学企業研究会」開催

今年の就職戦線もいよいよ本格化し始めました。本年度も札幌大学では校内で会社説明会を開催いたしました。96社あまりの企業の参加があり、多くの学生が熱心に話に聞き入っていました。

●開催日/2023年2月20日〜22日 計3日間
●場所/札幌大学新校舎5Fスクエア



学生と企業を繋ぐ場に 企業交流スペース

2022年11月、みらい共創スクエア内に『企業交流スペース』を新設しました。

学生や専攻、進路に関係なく誰でも、人生の先輩である社会人と会話や相談ができ、予約不要、服装や髪型も不問という気軽さから、2023年1月末までに11回実施し、のべ50名の学生が利用しています。



「面接で学生に聞かれて嫌な質問はありませんか?」「働いていて大変なことは?」「社内での服装のルールはありますか?」など、相談ではなく世間話や経験談を聞きたいという利用も多く、社会人とのコミュニケーションを経験できる場になっています。

参加企業からも、日頃は接点がない低学年の学生や他業界を志望する学生の考えを聞けたと好評を得ています。

2022年度は試行期間とし、2023年度の公からの常設実施化に向けて周知活動、参加企業の公募や校友会(卒業生)企業の参加を計画しています。

みらい共創スクエア『企業交流スペース』新設概要

【企業メリット】
・学生、大学に対する認知度向上
・学生の志向、言動の理解深化
・リモートワークスペースとして使用
・学生の利用がなくても実施するメリットを確保

【大学メリット】
・企業に対する大学理解度向上、連携強化
・教職員との交流、意見交換する機会
・校友会企業の紹介、交流促進

【学生メリット】
・予約や選考を経ずに社会人と交流する機会
・企業の採用ニーズや大学に対する評価、印象を把握
・ビジネスマナーやコミュニケーション力の向上

【校友企業】
・卒業生在籍状況(※明記)

定期開催することで利用しやすさをUP!

「私の就活体験インタビュー」 インターンシップ参加で進路を決意、 ただ今、公務員を目指し勉強中!!

永井 晴華さん
法学専攻3年生



女性でも長く安定して働ける点や、公務員として働く兄のアドバイスもあって、就職先として地方自治体の職員を目指しています。1年次はコロナ禍で自分なりに試験対策の勉強をしていましたが、2年生になってインターンシップに参加するなど、本格的な就職活動に着手しました。迎えた3年次。卒業後の進路を決定づける経験をしました。それが、本学と連携協定を結んでいる美幌町のインターンシップ参加です。「暮らしを通して美幌町を知るインターンシップ」と題されているとおり、観光、産業、人など、町の深いところまで知る機会が設けられていました。具体的には、中古車販売を営んでいる民間企業でのジョブ体験やNPO法人が運営する障がい者福祉施設への訪問などです。中古車販売会社では普段見ることのできない車検場を見学させていただいたり、NPO法人が運営する障がい者福祉施設では、私が考えたプランで子供たちと楽しく遊ばせました。さらに、美幌町が主催するさまざまなアクティビティやマルシェなどのイベントにも参加したりと、盛りだくさんのプログラムを体験させていただきました。美幌町は美幌町に代表されるように、雄大な自然に恵まれた観光地として知られています。実は魅力的な飲食店も多く、田舎すぎない田舎になっており、自然と都市機能の調和のとれた環境に、私はすっかり虜になってしまいました。なにより惹かれた点は、住民の皆さんの人柄です。町には地域振興に熱い情熱を抱いた方が多くいらして、その熱意に直に触れ、私も一緒に町を盛り上げたいという思いから、美幌町への就職を決意しました。町の発展について、総合的に貢献できるのが役場だと思っています。今は第二志望を考慮せず、美幌町役場一本に絞っています。現在は、7月に札幌で行われる筆記試



法学専攻 3年生
永井 晴華さん

験と、美幌町で予定されている面接に向けて勉強に励み毎日です。本学の公務員講座や対策室には1年生から参加しており、数的処理や社会科学、基本的な現代文など、試験対策を積んでいます。さらに、資格支援の民間企業、LECリーガルマインドさんの公務員講座も、授業終わりに引き続き本校で受講できることから、積極的に取り組んでいます。今後は面接試験に向けた模擬面接をしていただく予定であり、本番に備えていくというスケジュールです。また、私大にはキャリアサポートセンターという心強い就職支援施設があり、スタッフの方々に親身に相談に乗っていただいたり、資料の閲覧など、情報収集の面でも利用させていただいています。このように、私大には就職に関する万全のサポート体制が用意されていますので、後輩の皆さんには是非、積極的に利用していただきたいと思っています。役場への就職が実現したら、最初は窓口勤務になると思います。そうなれば、町民の要望に耳を傾け、苦情などがあっても決して聞き流さない丁寧な対応を心掛けていきたいですね。そのうえで、美幌町の魅力を発信するとともに、斬新なアイデアで活性化を図り、私のような若い世代が定着して暮らせる環境の整備にも貢献したいと考えています。

就職内定者レポート

経営学専攻

森田 永吉

私は4年次の4月下旬に第一希望であった北海道セキスイハイムから内定を頂きました。私の就職活動を一言で表すなら、まさに「短期決戦」。この一言に尽きるとは思います。3年次の1月から自己分析を始め、2月に企業説明会の予約、3月に30社ほど説明会を聞き、4月に15社選考を受けて内定を頂いたという流れになります。

向性が見えてくるので、履歴書エントリーシート、面接では自分の軸がブレず、根拠を伴ったアピールができます。また、就職活動において大事なことは人に頼ることです。これは私の反省点でもありますが、最初に就職活動の参考書を読んでわかった気になり、いろんなことを一人で考えて進めていきました。初めての面接で、想定外の質問から頭が真っ白になり、身体は震え、何もアピールできず悔しい思いをし、心が折れそうになりました。そこで一人就職活動の限界を感じ、大学の先生に助けを求めました。一人で何かをやり遂げることはとても素晴らしいことですが、時には人の力を借りるのも大切だと痛感しました。

振り返ってみると私の就職活動は4ヶ月で終了しましたが、毎日いろんなことを同時進行させ、落ち着きがなかったと感じています。例えば、エントリーシートを書きながらSPIの勉強、業界研究。面接に向かう飛行機の中で違う業界の履歴書を数社分書いたこともありました。そんな中で一番力を入れ、時間を割いたのが自己分析です。私が思うに、自己分析は就職活動においての原点、根幹になると考えています。自分の人生についてしっかりと向き合うことで、自分がどんな人かを知り、今後の方

私の大学生活は常に挑戦と失敗の繰り返しでした。一人でアメリカ横断したり、アルバイトで営業を経験したり、会社を立ち上げてみたりと挑戦の数だけ成功や失敗、学びがありました。何か挑戦した経験は、就職活動時だけでなく今後の人生に良い影響をもたらすので、1〜3年次の方々には失敗を恐れずいろんなことに挑戦してみたいです。



今期で3年目。 ますます充実の公務員養成コース

2020年度にスタートした公務員養成コースは、全専攻を対象とした、公務員試験合格を目指す学生のためのコースです。このコースは、公務員試験に出題される専門科目の基礎を学ぶことができる「正課学修」、基礎から応用まで科目ごとの専任講師が手厚くサポートする有料の「外部講座」、自学自習と少人数指導で個々のレベルに応じたフォローを実践する「対策室」の3つの柱で成り立っており、1年生からコースに所属することが可能です。

ほかにも、面接試験対策として元公務員の講師が面接官となり、学生の希望に応じて模擬面接を実施する機会や、公務員に合格した先輩から経験談や勉強方法を学ぶことができる、合格者座談会なども実施しています。



2022年度 公務員合格者数

北海道職員	28名
市町村役場職員(札幌市除く)	19名
保安職(消防吏員、警察官)	36名
国家一般職	7名
札幌市職員	2名
合計	109名

2023年3月3日時点

公務員養成コース		
●正課学修 (大学の講義)	●対策室 (自学・共学・指導)	●外部講座 ※任意 (予備校講師による有料講座)
・入門科目 ・専門科目 ・公務員科目など	・専任指導員による講義 ・個別指導・サポート ・自習室の活用	・教養試験対策 ・志望先に応じたコース選択 ・専門分野に特化した講師陣

「高・大・地連携」の 取り組みを紹介！

むかわ町、鶴川高校、札幌大学の
3者が包括連携協定を締結し、
地域の課題解決や人材育成を推進！

地域社会に貢献できる人材の育成は札幌大学のミッションです。その実現に向け、札幌大学ではすでに多くの地域と連携し、数々の取り組みを展開してきました。その一つが、むかわ町および鶴川高校、さらに札幌大学を加えた3者、いわゆる「高・大・地連携」による、活発な事業です。今回は道内に先駆けとして注目を集める、大いなるチャレンジについてレポートします。

『札幌大学が取り組む地域連携とは？』

大学の使命ともいえるべき人材育成と社会貢献を目標に、札幌大学では早くから「地域連携」に取り組んでいます。これは、地方が抱えるさまざまな課題を掘り起こし、その解決方法を探ることによって、魅力ある地域づくりと、解決に向け貢献可能な人材育成を目指すという、教育プログラムとしても位置付けられています。札幌大学とむかわ町、さらに北海道鶴川高等学校の3者が包括連携協定を締結し展開する、地域連携事業もその一つ。それぞれの人的・知的・物的資源を活かし、若い世代が町、高校、大学で活躍していく持続可能な地域づくりに寄与することを目的としています。



『むかわ町と鶴川高校、そして札幌大学が共に目指すもの』

ここで改めて、むかわ町についてご紹介いたします。むかわ町は、北海道胆振管内の東端に位置する人口約7600人の町。特産品の「鶴川シシャモ」をはじめ、近年は国内最大の恐竜化石「カムイサウルス」が発見されたことでも知られています。一方、北海道の多くの地方と同様に、

『活発な交流、連携事業を展開』

具体的な連携事業として、鶴川高校で行われる課題探究型学習「むかわ学」に、本学の学生がファシリテーターとして参加。高校生との交流や対話、活動へのサポートを行うことにより、学生はファシリテーション能力や地域の現状理解、さらに、課題解決や地域発展に通じるアイデアを提案する能力の修得・向上を目指しています。



人口減少・過疎化が進んでおり、その要因は若者の進学・就職による転出です。こうした課題の解決策のひとつとして、道都札幌に近いという特性を活かし、札幌大学とむかわ町、さらに鶴川高校の3者が連携し、若者を中心とした柔軟な発想で、町の魅力を再発見し、問題解決に向けた、さまざまな施策が実行されています。これによって将来、起業や副業先として選択される町づくりと、地域の課題解決に取り組む人づくりが進められており、その先進性から、内閣府の「関係人口創出・拡大のための中間支援モデル構築事業」にも採択されています。今年度から始まった活動ですが、すでに大学生と高校生、また、多くの支援者・支援団体が交流することで、地域の活性化が促進されるなど、さまざまな波及効果も生まれています。

例えば、むかわ町の特産物でクレープを作る企画を選んだ「クレープ班」では、高校生による町内での材料の買い出しや試作、札幌市内でのクレープ店調査、さらに講師指導のもと行われた、本格的なクレープ製作研修にも、本学の学生が参加。オンラインツールも活用して、提案や助言といったサポートを行うことで、高校生と共に、新しい気づきや学び、経験を得ることができました。このほか「むかわ町復興応援フェスタ」へのブース出展や、秋学期の授業において、むかわ町の地域課題解決策を検討するワークショップを催すなど、さまざまな連携事業を行っています。

札幌大学では今後も、この「高・大・地の連携」を深め、地域課題の探究、分析、解決、さらに新たな産業の創出も視野に入れた取り組みを通して、地域を支える人材の育成に一層努めていく方針です。

『サツドラ西岡札大前店』が、敷地内にオープン!!

サツドラの愛称で人気の「サツポロドラッグストア」が、昨年11月、札幌大学の敷地内にオープンしました。正式名称は「サツドラ西岡札大前店」。サツドラを経営するサツドラホールディングス株式会社の富山浩樹代表取締役は札幌大学の卒業生。昨年度の新棟落成記念講演会で講演いただくなど、本学との結びつきは深く、2021年には「包括連携協定」を締結しました。今回の新店オープンも、同協定によって実現した事業の一つです。

札幌大学とサツドラHDは、これまでお互いの知見を活かしながら、さまざまな協働事業を推進してきました。敷地内に新店がオープンしたことによって、教育とビジネスの融合という、新しい展開が始まっています。今年度からは、サツドラHDによる同社のネットワーク網を活用したデータサイエンスの授業が開講されました。このほか、店舗内に設けられたWiFi環境完備のテーブル席は、札大の情報発信の場として、また、札幌における

札幌大学とサツドラHDは、これまでお互いの知見を活かしながら、さまざまな協働事業を推進してきました。敷地内に新店がオープンしたことによって、教育とビジネスの融合という、新しい展開が始まっています。今年度からは、サツドラHDによる同社のネットワーク網を活用したデータサイエンスの授業が開講されました。このほか、店舗内に設けられたWiFi環境完備のテーブル席は、札大の情報発信の場として、また、札幌における

交通の要衝と言われる水源池通りに面した好立地にあることから、地域交流の場としても期待されています。今後、学生との連携による新たな企画も実施される予定になっています。



交換留学生の派遣・受入れを再開しました！

札幌大学は2022年秋から、新型コロナウイルスの影響で見送っていた交換留学生の派遣・受入れを再開しました。派遣留学生は、韓国、米国、カナダ、フィンランドの計13人、受入留学生は、中国、韓国、台湾、米国、ベトナムからの計19人です。

交換留学生は1年又は6カ月の滞在ですが、異国での生活が有意義かつ貴重な経験になるよう、様々な支援をしています。

札幌大学には交換留学生19人の他に、正規課程の外国人留学生37人がおり、また日本の生活に不慣れな留学生の支援や交流活動をしている大勢の日本人学生がいます。

9月開催の留学生歓迎会は、こうした日本人学生や外国人留学生が企画、進行を行い、来日間もない留学生は、頼れる仲間安心して感激したことでしょう。この歓迎会をはじめ、普段から支援の

先頭に立って協力いただいている3年生の加藤紫さんに、留学生との交流や支援を始めたきっかけを尋ねてみました。「私が留学生との交流に興味を持ったのは、国籍など関係なく人と会話することが好きという単純な理由からです。実際に話してみると、様々な異文化に驚き、美味しそう、食べてみたい、やってみたいと思うことが増えました。それまで漠然と海外に行ってみようという思いは、目標を持って行きたいという思いに変わりました。4月には新たな留学生が入学してきます。これまでの経験を生かし、多くの留学生との会話を生かしたいと思っています。〔英語専攻3年 加藤 紫〕」

この他にも、加藤さんのような日本人学生の協力の下、学外研修や餅つき大会などを実施し、地域交流や日本の伝統文化に触れる機会を提供しています。12月開催の餅つき大会は、大学のあ



この他にも、加藤さんのような日本人学生の協力の下、学外研修や餅つき大会などを実施し、地域交流や日本の伝統文化に触れる機会を提供しています。12月開催の餅つき大会は、大学のあ

この他にも、加藤さんのような日本人学生の協力の下、学外研修や餅つき大会などを実施し、地域交流や日本の伝統文化に触れる機会を提供しています。12月開催の餅つき大会は、大学のあ

https://www.sapporo-u.ac.jp/news/student/2023/03012543.html



令和4（2022）年度 課外活動への補助一覧

令和5年2月現在

交付団体名	大会名	補助対象期間	支出金額
空手道部	第66回全日本大学空手道選手権大会	11月19日(土)~11月20日(日)	24,000
剣道部(女子)	第56回全日本女子学生剣道選手権大会・第16回全日本女子学生剣道東西対抗試合	6月30日(木)~7月4日(月)	45,000
ゴルフ部	第59回全国大学ゴルフ対抗戦	6月21日(火)~6月23日(木)	9,000
サッカー部	2022年度第46回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント	8月17日(水)~8月20日(土)	240,000
サッカー部	アットホームカップ2020第20回インディペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバル	11月28日(月)~11月30日(水)	180,000
サッカー部	第6回全日本大学サッカー新人戦	12月16日(金)~12月22日(木)	330,000
女子サッカー部	第44回JFA皇后杯全日本女子サッカー選手権大会	11月25日(金)~11月26日(土)	138,000
女子サッカー部	第31回全日本大学女子サッカー選手権大会	12月22日(木)~12月25日(日)	276,000
女子サッカー部	大学女子サッカー地域対抗戦2023	2023年2月19日(日)~2月23日(木)	105,000
柔道部	福井県国民体育大会予選(団体)	7月14日(木)~7月17日(日)	18,000
柔道部	2022年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	9月9日(金)~9月12日(月)	36,000
柔道部	全日本学生柔道体重別選手権大会	9月30日(金)~10月2日(日)	180,000
柔道部	第77回国民体育大会柔道競技	10月6日(木)~10月10日(月)	30,000
柔道部	全日本学生柔道体重別団体優勝大会	10月14日(金)~10月17日(月)	180,000
柔道部	2022年度講道館杯柔道体重別選手権大会	10月28日(金)~10月31日(月)	12,000
柔道部	2022年度海外研修団体選手派遣・フランス試合	2023年2月1日(水)~2月12日(日)	36,000
柔道部	第2回高橋杯北日本学生柔道錬成大会(予定)	2023年3月16日(木)~3月20日(月)	645,000
スケート部	第16回東日本学生フィギュアスケート選手権大会兼第95回日本学生氷上競技選手権大会選考競技会	10月14日(金)~10月17日(月)	9,000
スケート部	第95回日本学生氷上競技選手権大会	12月19日(月)~12月23日(金)	162,000
卓球部	第91回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)	7月6日(木)~7月9日(日)	192,000
卓球部	第88回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)	10月19日(水)~10月23日(日)	210,000
卓球部	第18回全日本学生選抜卓球選手権大会	11月25日(金)~11月27日(日)	126,000
卓球部	天皇杯・皇后杯2023年全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)	2023年1月23日(月)~1月26日(木)	48,000
卓球部	第62回大阪国際招待卓球選手権大会	2023年2月16日(木)~2月19日(日)	84,000
卓球部	第75回東京卓球選手権大会(予定)	2023年3月15日(水)~3月17日(金)	63,000
準硬式野球部	清瀬杯第54回全日本大学選抜準硬式野球大会	9月4日(日)~9月6日(火)	234,000
準硬式野球部	第40回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	11月17日(木)~11月22日(火)	15,000
男子バレーボール部	ミキブルー・スーパーカレッジバレー2022	11月28日(月)~11月30日(水)	144,000
女子バレーボール部	第69回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会	11月28日(月)~12月1日(木)	156,000
チアリーディング部	第34回全日本学生チアリーディング選手権大会	12月2日(金)~12月4日(日)	27,000
男女バドミントン部	第10回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会	8月12日(金)~8月14日(日)	27,000
男女バドミントン部	第73回全日本学生バドミントン選手権大会(団体)	10月13日(木)~10月16日(日)	168,000
男女バドミントン部	第73回全日本学生バドミントン選手権大会(団体&個人)	10月13日(木)~10月19日(水)	42,000
ハンドボール部	令和4年度東日本学生ハンドボール選手権大会	8月10日(水)~8月13日(土)	300,000
ハンドボール部	高松宮記念杯第65回(男子)令和4年度全日本学生ハンドボール選手権大会	11月2日(水)~11月4日(金)	216,000
ラグビー部	第23回東日本大学セvens大会	4月9日(土)~4月11日(月)	27,000
ラグビー部	第73回全国地区対抗大学ラグビー大会	12月27日(火)~12月31日(土)	180,000
剣道部	第70回全日本学生剣道選手権大会・第69回全日本学生剣道東西対抗試合	6月30日(木)~7月4日(月)	18,000
女子バスケットボール部	第74回全日本大学バスケットボール選手権大会	12月2日(金)~12月8日(木)	252,000
男子バスケットボール部	第74回全日本大学バスケットボール選手権大会	12月4日(日)~12月7日(水)	216,000
陸上競技部	第91回日本学生陸上競技対校選手権大会	9月7日(水)~9月11日(日)	75,000
陸上競技部	第13回エコパトラックゲームズ	11月1日(火)~11月4日(金)	84,000
	合計		5,559,000

編集後記

日ごとに春の訪れが感じられるようになりましたが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスは、学生の生活にも大きな影響を与え、授業をはじめ課外活動やフィールドワーク、海外留学など、学生が主体的に取り組む様々なプログラムが制限されるとともに、遠隔授業などオンラインコミュニケーションツールの活用が進みました。

この度の「後援会だより 59号」においては、コロナ禍においても前向きに取り組みを継続している学生に焦点をあて、会員の皆さまにお伝えできるよう構成を行いました。

課外活動については、北海道学生柔道体重別選手権において、7つの階級で全て優勝を果たした柔道部を取り上げました。全階級制覇は初の快挙であると共に19名が入賞するという輝かしい戦績をあげた柔道部。今後の活躍にも期待したいところです。昨年10月には全国大会への出場切符を手にした体育連合会所属の12団体(柔道部も含む)に対する「壮行会」も開催され、後援会の猪狩会長からもメッセージを贈り、全国大会へ出場するクラブの激励を行いました。

一方、「学び」に関しては、学生と企業を繋ぐ場として【企業交流スペース】の新設を取り上げました。参加企業の中には多くの卒業生もあり、先輩として後輩へのアドバイスも行っているとも伺っています。学年を問わず参加が可能とのことですので、是非、参加をお伝えいただければと思います。

最後は「高大地連携」を取り上げました。「むかわ町・鶴岡高校・札幌大学」の三者による取り組みは、全国的にも珍しく国からも注目をされているとのこと。学生は高校の探究学習のファシリテーターとして関わることで、学生個人においても、地域への関心や卒業研究への反映などに繋がっているようです。

今後も後援会の視点で大学の情報を発信する際の参考とさせていただきますので、ぜひ皆さまの忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

常日ごろ後援会の手足となり、活動が円滑に進むようにお力を注いで下さっています事務局担当職員の皆様へこの場をお借りしましてお礼を申し上げます。

59号発行にあたり、取材にご協力をいただきました皆さまに感謝申し上げます。
(広報委員会 伊藤)

令和5（2023）年度 キャンパスカレンダー

2023.4~2024.3

- 4 1日(土) 入学式
1日(土) 春学期ガイダンス・オリエンテーション(～4/6)
7日(金) 春学期授業(～8/7)
29日(土) 休日授業実施日
- 5 6日(土) 開学記念日
14日(日) 第1回オープンキャンパス
- 6 16日(金) 大学祭(～6/18)
25日(日) 第2回オープンキャンパス
- 7 23日(日) 第3回オープンキャンパス
- 8 6日(日) 第4回オープンキャンパス
8日(火) 夏期休業(～9/18)
- 9 1日(金) 春学期卒業発表
11日(月) 秋学期集中講義(～9/16)
16日(土) 春学期卒業証書・学位記授与式
19日(火) 秋学期ガイダンス・オリエンテーション(～9/20)
21日(木) 秋学期授業(～2/3)
24日(日) 第5回オープンキャンパス
- 10 9日(月) 休日授業実施日
14日(土) 総合型選抜自己推薦選抜、総合型選抜ウレシバ選抜
- 11 25日(土) 学校推薦型選抜・総合型選抜自己推薦選抜(A日程)・社会人特別選抜、海外帰国生徒特別選抜(～11/26)
- 12 9日(土) 学校推薦型選抜、総合型選抜自己推薦選抜(B日程)
25日(月) 冬期休業(～1/9)
- 1 10日(水) 振替休日(10/9 休日授業分)
13日(土) 全学休講
13日(土) 大学入試共通テスト(～1/14)
- 2 5日(月) 一般選抜(A日程)
- 3 1日(金) 秋学期卒業発表
7日(木) 一般選抜(B日程) 総合型選抜自己推薦選抜(C日程)
20日(水) 秋学期卒業証書・学位記授与式
22日(金) 総合型選抜自己推薦選抜(D日程)



入学式



オープンキャンパススタッフ



オープンキャンパス参加者



卒業式

令和5（2023）年度 札幌大学保護者懇談会(予定)

保護者懇談会では、大学への理解を深めていただくことを目的に、学生の修学状況、学生生活、就職状況等をご説明します。改めて開催案内をお送りしますので、ぜひご出席ください。



猪狩会長



会場風景

開催地	実施会場	開催月日	開催時間
札幌	札幌大学 ※後援会総会	6 / 3 (土)	保護懇 12:30~15:30 総会 11:00~
苫小牧	グランドホテルニュー王子	9 / 2 (土)	13:00~15:00
室蘭	室蘭市生涯学習センター 『きらん』	9 / 3 (日)	12:00~14:00
岩手	アイーナ いわて県民情報交流センター	9 / 1 (金)	18:30~20:30
青森	ホテルJALシティ青森	9 / 2 (土)	13:00~15:00
函館	函館国際ホテル	9 / 3 (日)	10:00~12:00
帯広	ホテルグランテラス帯広	9 / 7 (木)	18:30~20:30
釧路	釧路ロイヤルインホテル	9 / 8 (金)	18:30~20:30
北見	北見経済センター	9 / 9 (土)	13:00~15:00
旭川	旭川勤労者福祉会館	9 / 10 (日)	10:00~12:00
札幌	札幌大学	9 / 17 (日)	9:30~12:30